【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和4年11月18日(2022.11.18)

【国際公開番号】WO2021/193742
【出願番号】特願2022-510611(P2022-510611)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｌ　2/238(2006.01)
Ｃ２３Ｃ 26/00(2006.01)
Ｃ２３Ｃ　8/52(2006.01)
Ｃ２３Ｃ 22/05(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｌ　2/238
Ｃ２３Ｃ 26/00　　Ｃ
Ｃ２３Ｃ　8/52
Ｃ２３Ｃ 22/05

【手続補正書】
【提出日】令和4年9月15日(2022.9.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
（２）本発明に係る機能性材料によれば、アルミニウム水和酸化物膜に形成される凸部の間隔を０．１０［μｍ］から０．２５［μｍ］の範囲内とすることにより、より強い殺菌作用を付与することができる。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３８】
また図５に示すように、実施例１～５の機能膜は、何れも殺菌試験後に剥離することは無かった。従って実施例１～５の機能性材料におけるアルミニウム水和酸化物膜である機能膜は、十分な強度があることも検証された。